



帝国ホテル

第182期 中間報告書

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日



P1 トップメッセージ

P3 中間連結財務諸表

P4 サステナビリティ

P5 TOPICS

P6 会社情報



過去から現在、そして未来へ
～ライト館開業 100周年～

(上)帝国ホテル2代目本館「ライト館」

(下左)現本館「オールドインペリアルバー」店内壁面

(下右)「インペリアル タイムズ」ライトの意匠

トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

当中間期は、新型コロナウイルス感染症第7波の影響や海外からの渡航制限の長期化に加え、ウクライナ情勢などを背景とした原材料や燃料価格の高騰などにより、経営環境は依然として厳しい状況となりました。

当社グループにおきましては、お客様に安心してご利用いただけるよう感染防止対策を徹底するとともに、様々な販売施策の展開や的確な価格戦略、経費削減により業績の回復に努めてまいりました。

これにより、最終利益は当初予想を上回り黒字を確保することができましたが、通期業績に対する不透明感は依然として残ることから、誠に遺憾ではございますが中間配当につきましては無配とさせていただきます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

当社グループの状況

当中間期は、入国時における水際対策の継続によりインバウンド需要は非常に厳しい状況が続きました。一方、国内においては、まん延防止等重点措置などの各種制限が発出されることはなく、わずかながらホテル・観光業界にも回復の兆しが見られました。

このように個人消費が回復基調に向かう中、国内顧客に向けた販売促進活動に努めるとともに安全・安心な環境を整え、さらなるサービス向上に繋げるためのサービス料率の改定など、売上げの最大化に努めてまいりました。

また、9月27日に執り行われました国葬儀においては各国賓客を万全の体制で受け入れるなど、社会的責任を全ういたしました。

さらに経費面におきましても、コストの見直しを継続して行い経費執行を最小限に抑えるなど、利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当中間期における帝国ホテル本社の売上高は前年同期比50.6%増の14,509百万円、帝国ホテル大阪の売上高は前年同期比56.8%増の2,758百万円、上高地帝国ホテルの売上高は前年同期比55.2%増の1,139百万円となり、その他事業所を含めた当中間期における当社グループの売上高は前年同期比51.4%増の18,607百万円となりました。

経常損失は当初予想から改善し64百万円となり、十分な回復には至らなかったものの前年同期の損失額を大きく圧縮することができました。これに特別利益を計上した親会社株主に帰属する中間純利益は136百万円となりました。

中長期経営計画 2036

さて、当社グループは本年5月、帝国ホテル東京の建替え後を見据えた「中長期経営計画2036」を策定、公表いたしました。

この経営計画において「創業の精神を継ぐ『日本を代表するホテル』として、人を原点とする帝国ホテルブランドをより進化させる」ことをビジョンに掲げ、130年を超える歴史の中で培われてきた当社が誇る経験豊富な従業員の存在が企業価値を高めるうえで何よりも大切な原点であることを表明いたしました。

帝国ホテル東京の建替え、京都新規ホテル開業の両計画とサービスの原点ともいえるヒューマンウェアが融合することで、帝国ホテルブランドはさらに向上するものと確信しております。

経営計画の公表後、全従業員に対して社内説明会を行い、このビジョンを全員で共有いたしました。全社一丸となって、中長期的な企業価値の向上に取り組んでまいります。



代表取締役社長 定保 英弥

今後について

政府による観光需要喚起策の実施、水際対策の緩和による訪日外国人の増加など、ホテル・観光需要の回復が期待され、当社グループにおきましても、宿泊、レストラン、宴会それぞれの部門において予約の伸長が見られます。引き続き感染防止策を徹底しながら営業活動を強化し、売上げの向上を図ってまいります。

3年近くに及ぶコロナ禍により、社会の価値観や生活様式は大きく変化いたしました。当社グループはこの経営環境の変化に合わせ、サービスアパートメント事業や巣ごもり需要に対応すべく移設拡充したホテルショップ『ガルガンチュワ』など、新たな事業や施策を積極的に展開してまいりました。

当社グループは長い歴史の中で「変えるべきものを変え、変えてはならないものを守る」という選択を繰り返してまいりましたが、今後も多様化するお客様の嗜好やニーズを的確に捉え、さらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様には、今後も一層のご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

中間連結財務諸表 (要旨)

中間連結貸借対照表

(百万円)

科目	当中間期末 (2022年9月30日現在)	前期末 (2022年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	29,008	31,201
固定資産	27,471	27,910
有形固定資産	15,151	15,012
無形固定資産	1,098	1,142
投資その他の資産	11,221	11,755
資産合計	56,480	59,111
(負債の部)		
流動負債	4,632	6,813
固定負債	13,919	14,327
負債合計	18,552	21,141
(純資産の部)		
株主資本	37,312	37,413
その他の包括利益累計額	615	556
純資産合計	37,928	37,970
負債及び純資産合計	56,480	59,111

(注)記載金額は百万円未満の端数を切捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(百万円)

科目	当中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	18,607	12,290
材料費	4,002	2,482
販売費及び一般管理費	15,618	15,271
営業損失	△1,012	△5,462
営業外収益	948	1,648
営業外費用	0	6
経常損失	△64	△3,820
特別利益	225	-
税金等調整前中間純利益 又は税金等調整前中間純損失	161	△3,820
法人税等	24	△9
中間純利益又は中間純損失	136	△3,810
親会社株主に帰属する中間純利益 又は親会社株主に帰属する中間純損失	136	△3,810

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科目	当中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,238	△1,523
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,188	△575
財務活動によるキャッシュ・フロー	△237	△237
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,664	△2,335
現金及び現金同等物の期首残高	25,215	28,651
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,551	26,315

サステナビリティ

事業を通じてSDGsに貢献



サステナビリティ
推進活動詳細

「ラグジュアリーとサステナビリティ」の両立を目指して。帝国ホテル 東京のSDGsの取り組みをご紹介します。

食品ロス削減に貢献する 耳まで白い食パンの開発



さらなる食品ロス削減の推進として、サンドイッチを提供する際に切り落とされる食パンの耳に着目し、廃棄が出ない食パンを開発するという発想で“新食感の白い食パン”が実現しました。10月よりホテルショップ『ガルガンチュワ』で販売するサンドイッチ商品に導入しています。2023年度中に帝国ホテル東京で提供する全てのサンドイッチのパン耳の廃棄をなくし、年間約2.5tの食品ロス削減を目指します。

あらゆるお客様に食の選択肢を。 ヴィーガンメニューの拡充



“誰ひとり取り残さない”というSDGsの観点から、国内外のあらゆるお客様が安心して食事を楽しめるよう、10月よりヴィーガンメニューのラインナップを拡充しました。フランス料理『レセゾン』や鉄板焼『嘉門』のコース料理のほか、オールデイダイニング『パークサイドダイナー』では前菜からデザートまでアラカルトで多彩なメニューをご用意しています。

ウェルネスとサステナビリティを 融合させた宿泊プランの販売



生活様式が多様化する中で、関心が高まる心と体の健康を叶えるための宿泊プランをご用意いたしました。体と環境にやさしい美食付やパーソナルトレーナー付など「ラグジュアリーとサステナビリティ」が融合したくつろぎの時間をお過ごしいただけます。バラ、フルーツの皮、ホテル内花壇のハーブなどを再利用し、やすらぎを提供する“香りのおもてなし”もお楽しみください。

TOPICS

過去から現在、そして未来へ ～ライト館開業 100周年～

20世紀を代表するアメリカの建築家フランク・ロイド・ライトが日本で初めてホテル建築を手がけたのが帝国ホテルでした。2代目本館として完成した「ライト館」は、2023年に開業から100周年を迎えます。

精巧な建築美から“東洋の宝石”と称され、1967年に惜しまれつつその歴史に幕を閉じるまで、ホテルウエディングやディナーショー、海外の食文化を紹介するフードフェスティバルなどの今日まで受け継がれている華やかなホテル文化が誕生する舞台となりました。

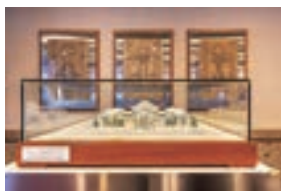
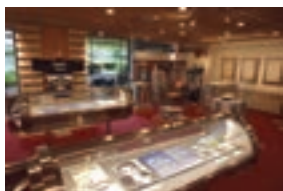
そして、2036年に完成を迎える帝国ホテル 東京の newborn 館においても、新たな“東洋の宝石”として輝きを放てるよう、紡がれてきた文化や想いを未来へと継承してまいります。

インペリアル タイムズ「ライト館 開業100周年記念企画」 The Wright Imperial; A Century and Beyond

ホテルの歴史を紹介する常設の展示スペース「インペリアル タイムズ」内の特別企画として、2代目本館「ライト館」の建築や今日に継承されている文化について紹介する企画展示を行っています。

展示場所：帝国ホテル 東京 本館1階メインロビー内
「インペリアル タイムズ」

期 間：2023年8月31日(木)まで(予定)※鑑賞無料



*帝国ホテル 大阪では1階宴会ロビーにて「渋沢栄一とライト館」パネル展示を実施中。

ライト館100周年アニバーサリークッキー

ライト館時代の帝国ホテルで使われていたパンフレットのデザインを缶と葉にあしらった100周年記念限定商品です。



価 格：4,320円(消費税込み)

販売場所：帝国ホテル 東京 カドー ガルガンチュワ
TEL.(03)3539-8086

帝国ホテル 大阪 ホテルショップ
TEL.(06)6881-4878

オンラインショップ

<https://shop.imperialhotel.co.jp/>



会社情報 (2022年9月30日現在)

会社の概要

商号	株式会社帝国ホテル Imperial Hotel,Ltd.
住所	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
設立年月日	1887年12月10日
開業年月日	1890年11月3日
資本金	14億8千5百万円
主要な事業所	帝国ホテル本社(東京都千代田区) 帝国ホテル大阪(大阪府大阪市) 上高地帝国ホテル(長野県松本市) ザ・クレストホテル柏(千葉県柏市)
ホームページアドレス	https://www.imperialhotel.co.jp

株式の状況

発行可能株式総数	192,000,000株
発行済株式総数	59,400,000株 (自己株式 62,956株を含む)
株主数	5,247名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数
三井不動産株式会社	19,700千株
アサヒビール株式会社	3,408
株式会社大和証券グループ本社	3,045
株式会社みずほ銀行	2,952
日本生命保険相互会社	2,918
富国生命保険相互会社	2,654
サッポロビール株式会社	2,500
清水建設株式会社	2,500
第一生命保険株式会社	2,338
鹿島建設株式会社	2,300

(注)持株数の千株未満は切捨てて表示しております。

取締役及び監査役

代表取締役社長	社長執行役員	定保英弥
代表取締役常務	常務執行役員	徳丸淳 風間淳
取締役		筒井義信 斎藤勝利 上條努 日比野隆司 小野澤康夫 小野路明善 米山好弘
	常務執行役員	幸田雅弘 金尾幸生
	執行役員	古谷厚史 今井徹
常勤監査役		宮新朋明 金澤睦生 中山こずゑ 仲浩史 石神裕之
監査役		

執行役員

加藤俊也 松田喜則 高橋義幸 大和田寛

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
定時株主総会	6月下旬	公告の方法	電子公告の方法により行います。 (https://www.imperialhotel.co.jp) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
剰余金の配当の基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日		
株主名簿管理人及び特別口座口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部		

株式に関するお手続きについて

1. 証券会社で株式を保有されている株主様

	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> ○単元未満株式の買取請求 ○届出の住所変更等 ○配当金の受領方法・振込先のご変更 	口座を開設されている証券会社
<ul style="list-style-type: none"> ○郵送物の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿管理人：みずほ信託銀行株式会社 (下記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います)

2. 証券会社で株式を保有されていない株主様（特別口座の場合）

当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行へお問い合わせ願います。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

ホームページ：<https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>

フリーダイヤル：0120-288-324（土・日・祝日を除く9:00~17:00）



帝国ホテルはSDGs
(持続可能な開発目標)
を支援しています。



エコマーク認定
帝国ホテル
Eco Mark certification
Imperial Hotel



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915

